

第2節「創る」 ～人と地域の夢や希望を実感できるために～

施策	: 232	子育て支援策の推進
基本事業	: 23202	母子保健対策の推進

主な取組内容

・母子保健サービスを促進するため、市町の取り組みを支援するとともに、不妊に悩む夫婦に対する経済的支援および相談体制の強化に取り組みます。

1 母子保健事業

(1) 子育て支援事業

家庭訪問・面接・相談

養育問題をもつ保護者への支援が虐待予防につながるとの観点から、医療機関から連絡のあったハイリスク児と母親に対して周産期からの支援を行いました。

対象：病院NICUより退院連絡及び津市からの協力依頼を受けた未熟児及び障がい児。小児慢性特定疾患児は、医療機関から訪問必要と連絡のあった児童などです。

(平成25年度)

	未熟児	障がい児	小児慢性特定疾患児
訪問実件数	8	17	17
訪問延件数	16	41	43

(2) 思春期健康支援事業

思春期は、人間の一生において心身面の発達の変化の最も大きい時期です。この時期は、特有の身体や心に関する悩みなども多くみられ、それに対する対応が将来の結婚生活や健康に大きな影響を与えることから、電話相談を受け、助言を行いました。

2 母子保健医療

(1) 医療給付状況

(平成25年度)

	小児慢性特定疾患
申請件数	294
給付決定件数	291
否決件数	3

(2) 小児慢性特定疾患医療給付件数内訳

(平成25年度)

	津 市
悪性新生物	63
慢性腎疾患	19
慢性呼吸器疾患	21
慢性心疾患	42
内分泌疾患	91
膠原病	9
糖尿病	16
先天性代謝異常	13
血友病等血液・免疫疾患	15
神経・筋疾患	14
慢性消化器疾患	7
計	310

(3) 特定不妊治療費助成用申請状況

(平成25年度)

申請数	361
承認数	359

3 妊産婦メンタルヘルス対策

(1) 目的

産後は、こころの病気の発生率が高く、とりわけ、産後うつ病は、妊産婦の10%以上が罹患すると言われているにもかかわらず、その対策が十分に行われているとは言えません。

こうしたこころの病気の早期発見・早期治療・早期支援を行うことで、妊産婦のメンタルヘルスの向上を図り、安心して子どもを生み育てる環境を整えることは、児童虐待防止の観点からも重要なことです。産婦人科の協力を得て、出産直後（産褥入院中）の産婦に対しエジンバラ産後うつ自己評価票（以下「EPDS」）を用いてスクリーニングを行い、高得点者及びその他ハイリスク者について、支援を行うため、関係者間の連携を図りました。

(2) 事業内容

ア 個別支援

対象：津市内在住者で、管内協力産婦人科医院において出産された産婦に対して、産科退院までに、EPDSを実施し15点以上の産婦及び若年出産、経済困窮、母の精神疾患等で津市と連携し、何らかの支援が必要と判断された母子

方法：情報を得られた母子に関して、家庭訪問や関係機関の連携等で支援を行う

実績：産婦人科等関係機関からの連絡事例

(平成25年度)

種 別	EPDS高値	その他要因
紹 介 事 例 数	1 件	3 件

イ ママ元気ネットワーク会議の開催

産婦人科医や助産師との連携を深めることを目的に津市と共催事業として平成20年度から実施しています。

日 時	開催場所	参加者	内 容
平成25年5月30日 18時30分 ～20時00分	津市中央 保健センター	産婦人科医師 助産師 市保健師 県保健師 計13名	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度母子保健事業について(津市・津保健所) 医療機関における妊婦教室・育児教室についての紹介 平成24年度ママ元気ネットワーク会議アンケート集計結果について 平成25年度ママ元気ネットワーク会議事業計画について
平成25年10月31日 18時30分 ～20時00分	三重県 津庁舎	産婦人科医師 助産師・市保健師 県保健師 計23名	<ul style="list-style-type: none"> 研修会 「要支援家庭の持つ課題への対応と家族計画指導」 講師 特定非営利法人 MCサポートセンター「みっくみえ」 松岡 典子 代表
平成26年 2月27日 18時30分 ～20時00分	津市中央 保健センター	産婦人科医師 助産師 市保健師 県保健師 計17名	<ul style="list-style-type: none"> 津市の母子保健における現状と課題 今後のママ元気ネットワーク会議について